

作新学院新聞

発行所 宇都宮市一の宮
編集委員会 作新学院
印刷所 株式会社宮本印刷

平成二十四年度作新学院卒業式日程

▽三月一日（金）高等学校（総合体育館）
▽三月十一日（月）中等部（小・中体育館）
▽三月十三日（水）小学部（小・中体育館）
▽三月十六日（土）幼稚園（プレールーム）

作新学院歌

作詞 石濱恒夫
作曲 外山雄三

一、光り満ちたり涯しなき
知恵の流れにいそしみて
はぐくむつばさひたすらに
若きころのあこがれや
作新の風吹きおこる
われらが愛の学院に

二、望み溢るるたゆみなき
月日の野辺に花摘みて
久遠の窓を指させば
若きいのちの夢多し
作新の風吹くところ
われらが愛の学院に

三、東西の星限りなく
連なる嶺やここかしこ
道なき道も手を組み
若きちからのすすむなる
作新の風吹きそよぐ
われらが愛の学院に



一校一家
創立九十周年記念

挑戦する心を忘れずに

理事長
学院長
船田 元



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。平成24年度の作新学院はまさに「文武両道」において、大活躍の年でした。

まず「武」の分野では、3季連続の甲子園出場を果たした硬式野球部。昨夏はベスト8まで登り詰めました。水泳の萩野公介君は、ロンドンオリンピックの大活躍を示してくれました。

彼らの活躍を支えていたのは、作新時代に培った「チャレンジャー精神」、すなわち挑戦する心ではなかったでしょうか。人間はもとも弱い存在です。少し努力して少し現状が改善すると、すぐに満足してしまいがちです。でもそこで努力することを止めてしまえば、人間としての進歩はそこで止まってしまいます。そこを突き破って、よりよいものを求めて努力し続ける姿勢こそ、私たちの求める「チャレンジャー精神」になるのです。

もう3年前になりますが、人類の歴史で初めて小惑星からサンプルを持ち帰った探査機「はやぶさ」の偉業も、JAXAの川口チームリーダーをはじめとするスタッフたちが、故障続きで行方不明にもなった「はやぶさ」を、諦めずに探し続けた結果、はじめて成し遂げられたものでした。

今掲げた2つの成功例は、人類初とかノーベル賞といった傑出した成果で、私たちがどんなにもがいても到達できる頂上ではないかもしれませんが、これからの大活躍を心からお祈りしています。

自分の心で感じ、頭で考えられる人に

理事長代理
院長代理
船田 恵



一つは、どんな時も自分の心で感じ、自分の頭で考え、自分らしく行動するということです。

自分自身がどう感じ、どう考えたかよりも、周りの人がどう感じ、どう考えたかによって、自分の言動を決めてしまいがちです。「こんなことを言ったら変に思われるんじゃないか」とか、「みんなが黙っているんだから自分も黙っているように」というように、できるだけ周囲との軋轢がないことを願うあまり、他人の顔色や周囲の様子ばかり気にして、自分自身が本当に何を面白く思っているのか、何は

嫌だと思っているのか、何をしたいかと思ひ、何はしたくないかと思ひ、同じように、最終的には分からなくなってしまう。

人生で、辛くしんどいことは山ほどあります。でも、そうしたことを向かい合っていく中で、自分自身が次第に磨かれ鍛えられ、より素敵で楽しいことに出会える自分へと成長することが出来ます。もし辛くしんどいことがあったら、今、自分は磨かれ鍛えられ成長しているんだと、歯を食いしばって感謝しましょう。

卒業を迎えられた皆さん、ご卒業おめでとうございます。また子供たちの成長を支えてこられたご家族の皆様にも、心からお慶び申し上げます。

一段また一段と、大人の階段を上って行く皆さんに幸せな人生を歩んで行ってもらうために、どうしても忘れてほしくないことが二つあります。

一つは、どんな時も自分の心で感じ、自分の頭で考え、自分らしく行動するということです。

自分自身がどう感じ、どう考えたかよりも、周りの人がどう感じ、どう考えたかによって、自分の言動を決めてしまいがちです。「こんなことを言ったら変に思われるんじゃないか」とか、「みんなが黙っているんだから自分も黙っているように」というように、できるだけ周囲との軋轢がないことを願うあまり、他人の顔色や周囲の様子ばかり気にして、自分自身が本当に何を面白く思っているのか、何は

嫌だと思っているのか、何をしたいかと思ひ、何はしたくないかと思ひ、同じように、最終的には分からなくなってしまう。



厳かな雰囲気の中、クリスマス礼拝



総合グラウンドで実施された長距離走大会



落語家を招いての学院寄席



合宿セミナー



金環日食観測会



就業体験



新春の百人一首大会



1、2年生合同のスキー実習



立志式に臨む2年生



孝子桜
城山西小学校の大きな孝子桜を見に行きました。とても大きくてきれいだったね。



田植え
初めての田植え体験。みんな泥んこになって頑張りました。



お泊まり保育
みんなで一緒に夕食をとったり、花火を見たりしてとても楽しかったです。パジャマに着替えて今から寝ます！おやすみなさい。



稲刈り
みんな植えた苗がこんなに立派になりました。精米にも挑戦しました。

中等部 卒業生の言葉

生徒会長 長石原 諒

待っていてくれたのは、「出会い」と「多くの体験」でした。入学後の私たちは、すぐにそれに直面し、不安は一気になくなり、日に日に充実した毎日に変わっていったことを覚えています。

「出会い」は、友達や先生方だけでなく、社会や地域の方々からも多くを学ぶことができました。楽しい思い出ばかりではありません。

一方、東日本大震災のために生徒一人ひとりが手続いた雑巾を被災地に届けたり、ペットボトルキャップを回収してワクチンの提供に役立てたりと学ぶべきことが多い3年間でもありました。

また、ロンドンオリンピックで銅メダルを獲得した萩野公介君や甲子園の3季連続出場を成し遂げた硬式野球部の功績は、また一つ作新学院に輝かしい歴史を刻むこととなりました。

私は、在校生の皆さんに、一緒に感動の涙や悔し涙を流したこともあり、社会や地域の方との出会いは、優しさや勇気、感謝の気持ちを学ぶよい機会となりました。人は支え合って生きています。「出会い」で得たことは、中学生という子供から大人になる複雑な気持ちの私たちにとって、生涯の心の支えになると思います。

3年間において、「多くの体験」も、貴重なものばかりです。練習から一つになり頑張った学校行事。技術の向上と勝利を目指し努力を重ねた部活動。働く大切さを知った職場体験など、

幼稚園 保護者の言葉

卒園を迎えて
保護者 竹澤 優子 様

満開の桜の下で手を引かれ、右も左も分からない新しい園舎に入ってから、早くも4年が経とうとしています。恥ずかしがり屋でおとなしい性格の息子が、幼稚園で友達とうまく関われるか、心配しながらのスタートでした。

それが今、仲の良い友人に囲まれ、色々なことに自信を持って積極的に取り組む息子がいます。この4年間の成長は、偏に幼稚園の先生方のご指導のおかげと感謝しております。子供の苦しい分野を克服させて「好きな分野を得意な分野に変え、得意な分野を大いに褒めて「自信」に繋げる、教育の賜物だと感じています。

幼稚園で経験した多くの「できた」体験が心の支えとなり、これから迎える小学校生活に自信を与えてくれるものと信じております。最後に、作新学院幼稚園で貴重な幼児期を過ごさせて頂いたことに對して、謝意を表して終わらせて頂きましたから4年間、本当にどうもありがとうございました。

高等学校 卒業生の言葉

生徒会長 総合進学部 三木 優美

長いようで短かった3年間の高校生活もいよいよ終りを迎え、それぞれの道へと進んでいく時が来ました。

期待と不安を胸にスタートした高校生活は、毎年恒例の学院祭をはじめ、体育祭や修学旅行など、多くの楽しい思い出がありました。

この作新学院の素晴らしい伝統を引き継いでいきたいと思っています。そして、各々が目標を持ち、何があっても挫折せず、毎日を大切に過ごしていただきたいと思っています。

最後になりましたが、3年間私たちが温かく見守りご指導してくださった先生方、本当にありがとうございました。作新学院で学んだことを忘れることなく、自分の夢に向かって、未来の扉を開いていきたいと思っています。

小学部 卒業生の言葉

児童会長 田中 龍成

6年前の4月、舞い散る桜の木の下で、両親ととった写真を見ると、あの時の不安と期待に胸をどきどきさせていた気持ちが、昨日の事のようによみがえります。長いようで、あっという間の6年間でした。

楽しいこと、うれしいこと、いろいろなことがありました。運動会、クリスマス音楽会、長距離走大会、1、2年生の頃の演劇発表会など、

ど、様々な行事の中で、仲間たちと力を合わせ、いつも全力で楽しみ、体も心も成長することができました。時々意見がぶつかり合っていたけれど、6年間共に過ごした、たくさんの思い出を作ってくれた仲間たちのことは一生忘れません。

春からは、中学生になり、進路はそれぞれが違います。少しさびしいですが、6年間小学部で培ってきたことを胸に、新しい未来に向かって、進んでいきたいと思っています。

東日本大震災からもうすぐ2年。復興はまだ進まず、原発事故による放射能汚染が、

と、その除染の問題、新しいエネルギーをどうやって得るか、また大きな地震が来るのではないかなど、日本の進む道は厳しいです。中国や韓国との領土問題、TPP、少子高齢化など、社会の授業で勉強しましたが、ぼくたち一人ひとりが自覚を持って、真剣に向き合っていかなければならないと思います。

最後になりましたが、6年間ぼくたちを支え、導いてくださった先生方、いつも見守り、応援してくれた家族に感謝したいと思います。ありがとうございます。中学生になってもがんばります。



修学旅行パリ凱旋門にて



修学旅行沖縄ひめゆりの塔にて



校内合唱コンクール



感謝の気持ちを花に込める花の日訪問



絵画の得意なクリス先生の授業



ヘザー先生のレシピで作るチョコチップクッキー



大地の恵みを思う感謝祭

「一休会」

7月20日、「一休会記念碑」を前に、一休会の方々・院長・院長代理と生徒たちが慰霊祭を行った。

「一休会」とは太平洋戦争末期の昭和19年に下野中学校・旧作新館高等女学校に入学した同窓生たちによって命名された会である。翌年、つまり終戦の年、空襲等で7人の尊い命が奪われた。昭和48年、その方たちを追悼するため現在の一号館の南側に碑を建て、その後毎年慰霊祭を行ってきた。碑の表の「一休会記念碑」の文字は故船田中先生の揮毫によるもので、裏には故船田譲先生の筆で、「戦没者同窓生追悼記念」の文字と7



人の名が刻まれている。この日、代表生徒の紹介によって「慰霊祭」のいわれを知った生徒たちは、改めて歴史の重みを感じつつ全員で黙祷をした。また、連綿と続くであろう同窓生の思いを込めた献花もあった。

優良PTA表彰

作新学院高校PTAが、文部科学省から平成24年度「優良PTA文部科学大臣表彰」を受けた。

作新学院高校PTAは、本部としての取り組みの他に10の支部を置いて活動を展開し「保護者・地域・学校」が一体となった活動や協力体制を敷いている。東日本大震災の復興支援活動では、幼小中高一貫校の特性を生かした「オール作新」体制で臨み、義援金を贈ったり、窓拭きボランティア等を兼ねた慰問を行った。また、保護者を対象とした6種類の教養講座を開設し、教育環境の充実も図っている。それらが評価され今回の受賞となった。私立校が同



表彰を受けるのは栃木県内初である。PTAを束ねているのは片柳二郎さんである。片柳さんは平成21年から会長を務め、式典等では心に深く残るご挨拶を頂いている。会長は「名誉ある表彰は保護者のおかげ。県の私立校代表という思いで誇らしい。これを励みに、地域と連携してさらに活発な活動をしてい」と話した。

表彰を受けるのは栃木県内初である。PTAを束ねているのは片柳二郎さんである。片柳さんは平成21年から会長を務め、式典等では心に深く残るご挨拶を頂いている。会長は「名誉ある表彰は保護者のおかげ。県の私立校代表という思いで誇らしい。これを励みに、地域と連携してさらに活発な活動をしてい」と話した。

eco. プロジェクト チーム・テレサ — ボランティア系 —



「もったいないフェア宇都宮2012」において「もったいないAWARD」団体特別賞を受賞
(ペットボトルキャップ回収400万個達成・CO₂排出削減量31.5t・5003人分のポリオワクチン)2012年12月末現在



「一人1本の苗木づくり」幼稚園児のドングリ植え



水と緑の少年隊「フォーラム・イン・足尾」



北京の復興門外第一小学と環境交流



「足尾に緑を」を合言葉に植樹



800個のペットボトルキャップで作成したクローバー壁画



科学技術の講義を聴きに東京大学へ

S・S・H — スーパー・サイエンス・ハイスクール —



宇都宮大学農場にて土の秘密を探るイネの生育観察



地質標本館で日本列島を体験



帝京大学での先端科学体験



土木研究所のテストコース体験



JAXAで宇宙を体験



中学生のためのわくわくサイエンススクール

人間力で地球を守る

作新学院では、学業・部活動・社会貢献の3本の柱による人間力の育成に努めている。平成23年度指定校に採択されたスーパー・サイエンス・ハイスクール(S・S・H)、そして、今年度発足させた「チーム・テレサ(ボランティア系)」「チーム・コロンブス(国際交流系)」という作新ecoプロジェクトによって、人間力を

育むためのレベルの高い教育を行っている。また、一昨年から「オール作新」東日本大震災救援活動も継続している。私たちは、様々な経験によって豊かな想像力・コミュニケーション力を身につけ、国際力・社会貢献力につなげようとしている。それらの力を携え、美しい地球を守るために忍耐強く努力していく。

eco. プロジェクト チーム・コロンブス — 国際交流系 —



日本・台湾の生徒全員で記念撮影



北京第四中との環境フォーラム



台湾南寧高級中との科学交流



北京第四中との部活動を通じた交流

eco. プロジェクト チーム・ガリレオ — 実験発明系 —



足尾鉍毒の無毒化技術を研究製錬所跡見学



水中投入型水力発電装置(試作研究中)



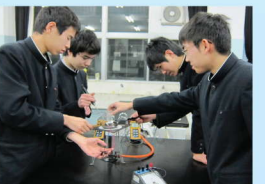
鉍山廃水の重金属を取り除く研究



移動式風力発電装置(試作研究中)



小・高校の成長段階に沿った教育プログラムを提案～足尾銅山浄水場(本校生徒見学)現在も稼働中～



ゼーベック効果による温度差発電の研究



太陽追尾型ソーラーパネル「ひまわり君」

東日本を支える 東日本大震災救援活動

昨年東京大学の大学祭に行った生徒がもたらした「ひまわりの種」が始まりで、今年は中等部3年生のベランダで育てた苗に、一人ひとりメッセージをつけ、ひまわりプロジェクト東大支部に送り出した。

ひまわりの花で明るく元気になっていただくために育てた苗を被災地にお送りすると、ひまわりプロジェクトや現地ボランティアのみなさんが宮城県名取市美田園の仮設住宅にある広場に植えて下さった。8月には生徒たちが美田園を訪ね、大輪のひまわりの花が立派に咲く姿を見た。



ひまわりの苗を名取市へ

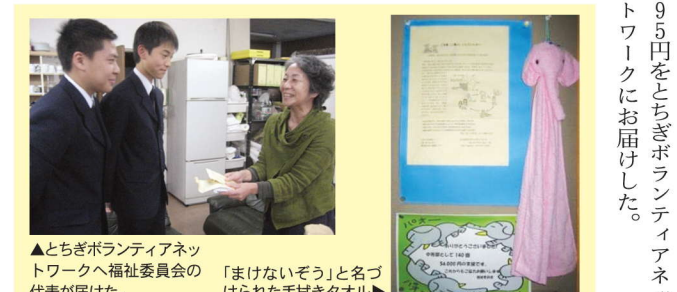
小学部では、昨年度から交流を再開した気仙沼小学校との「交流の日」を6月17日とし、今年は被災地の友に元気になってもらえよう、と、「交流新聞」という壁新聞を作った。1年生から6年生の授業や校外学習の様子など、各学年がそれぞれの行事を写真や文字で表し、模造紙2枚にまとめたものである。また、6年生は友情の証として気仙沼小学校421人分のメッセージを作りプレゼントした。



気仙沼との交流

「まけないぞう」は140体購入、募金と合わせて11万6200円をもちぎボランティアネットワークへ福祉委員会の代表が届けました。

▲とちぎボランティアネットワークへ福祉委員会の代表が届けました。



「まけないぞう」による自立支援活動

95円をもちぎボランティアネットワークにお届けした。

ロンドンオリンピック

萩野公介 銅



（共同通信社提供）

日本が、いや世界が驚嘆した瞬間だった。7月28日ロンドンオリンピック競泳男子400m個人メドレーで、英進部3年の萩野公介が4分8秒94の日本新記録で銅メダルの栄冠を手にした。競泳男子で高校生のメダル獲得は1956年メルボルンオリンピック以来、56年ぶりの快挙。17歳の新鋭が日本競泳界の歴史を塗り替えた。

スタートの号笛とともに飛び出した萩野は一種目のバタフライをやや出遅れたものの、得意の背泳ぎでグングン追い上げ一気に2位を奪う。平泳ぎでは必死に食らいつき、ラストの自由形では力の限りを尽くした快泳を見せ、最後まで息もつかせぬデットヒート演技した。その相手は北京オリンピックピック8冠の「怪物」フエルプス。ほとんど並んでのゴール。観る者すべてが勝利の行方を見守る中、掲示板を仰ぎ高々と左拳を天に突き上げた萩野。その瞬間、会場は割れんばかりの大歓声と拍手に包まれた。世界最高峰のスイマーを破つての銅メダル獲得。2位にわずか0.08秒差と銀も予感させた。

日本時間では7月29日午前3時30分。本学院聴蛙館5階に集まった130人余の教職員・生徒たちも勝利への後押しと「萩野」の名を大コール。ロンドンに「作新の風」が吹き起きた瞬間、会場には大歓声と拍手が湧き上がり、興奮の増幅と化した。続く8月3日、200m個人メドレーでは自己ベストをマークし、見事に5位入賞を果たした。

12月のモントリオール国際招待試合でも、優勝という栄冠を得、世界目標の目標ができた。彼女の視線の先には更なる大きな夢の舞台が広がっている。

なお、1月28日「栃木県高校スポーツ賞」の表彰式では、「優秀選手賞」と、歴代5人目となる「県高体連特別賞」を受賞した。

た模本。9本中8本を終えた時点でライバル選手とは同点。最後の1本で「優勝が決まる」という緊迫した場面で見事に挑んだ攻めのダイブ。「後ろ宙返り1回半、2回半ひねり」の難易率の高い技を見事に決め、栄光を手にした。「大舞台で難しい技を決めることが力になる」と語る模本。

水泳部（飛込）

世界一を目指す

8月17日、全国高等学校総合体育大会「2012北信越かがやき総体」（インターハイ）水泳競技大会において、総合進学部1年の榎本遼香が高飛び込みで初の頂点に立った。決勝進出者12名の最後の試技者として登場し

水泳部

8月17日、全国高等学校総合体育大会「2012北信越かがやき総体」（インターハイ）水泳競技大会が新潟県長岡市のダイエープロビスフェニックスプールで行われ、萩野公介が400m自由形で3分48秒61の大会新記録をマークして初優勝を飾った。19日に行われた200m背泳ぎにおいても、他の選手を寄せ付けない圧巻の強さで、1分55秒81の高校新記録を樹立して優勝。

ロンドン五輪後の凱旋試合でもあったが、その真意は「作新学院への恩返し」だった。銅メダル獲得という偉業を果たした後も感謝の心と謙虚な姿勢を決して忘れない、彼の人柄が窺い知れる。

1月28日の「栃木県高校スポーツ賞」表彰式では、従来の表彰規定の枠を超えた「県高校スポーツ大賞」が贈られ、受賞1号となった。

12月のモントリオール国際招待試合でも、優勝という栄冠を得、世界目標の目標ができた。彼女の視線の先には更なる大きな夢の舞台が広がっている。

なお、1月28日「栃木県高校スポーツ賞」の表彰式では、「優秀選手賞」と、歴代5人目となる「県高体連特別賞」を受賞した。

た模本。9本中8本を終えた時点でライバル選手とは同点。最後の1本で「優勝が決まる」という緊迫した場面で見事に挑んだ攻めのダイブ。「後ろ宙返り1回半、2回半ひねり」の難易率の高い技を見事に決め、栄光を手にした。「大舞台で難しい技を決めることが力になる」と語る模本。

ボクシング部

第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」でミドル級代表総合進学部3年森祐太郎が大差のポイント勝ちで宮崎県の代表を下し、見事初優勝、頂点に立った。国体は高校生最後の試合。4名の3年生が出場、敗退した仲間の思いも背負って決勝戦に挑んだ。そして「最後まで諦めないで、前に出る気持ち」（森選手）で雪辱を果たした。

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

陸上競技部

10月8日、岐阜卓モリアルセンター長良川競技場で行われた第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」において、総合進学部1年の五十嵐一斗が7m19の記録で優勝の栄光に輝いた。

五十嵐は西那須野中学校の出身。同校在学中に走幅跳で栃木県大会を制し、高校での一層の活躍が期待されていた選手である。顧問の田崎康博教諭は、「優勝した走幅跳のほかに、三段跳とリレーでも将来有望な選手」と彼への期待を語った。今後の活躍が今から楽しみである。がんばれ、五十嵐選手！

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

ゲートボール部

7月28日・29日、埼玉県熊谷市彩の国くまがやドームで行われた第17回全国ジュニアゲートボール大会女子1部クラスにおいて、英進部の高木萌愛、平出真美、掃部由有、須藤彩、小林理恵が、全国の頂点に立った。今回の優勝により、作新学院は歴代最多の4度目の優勝という偉業を達成した。一つのミスが勝敗を分ける緊張感みなぎる決勝戦を集中力と団結力で制した。

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

弓道部

第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」において、総合進学部3年の小杉悠・情報科学部3年の木村友貴が弓道少年女子遠的競技の第2位・近的競技第8位に入賞した。

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

書道部

公益社団法人 創玄書道会主催 第49回全国競書大会において第2位となる創玄書道会賞を、英進部2年安納采那が受賞した。

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

5千点の中から選ばれた。安納の作品は、紺色の紙に金泥で58文字の楷書を臨書したもので、優秀団体賞も受賞することができた。

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

はしたが、「力は最後まで出し切れた」と田邊恒輝主将。軟式野球部の更なる躍進は続く。

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

第30回全日本高等学校バレーボールフェスティバル選手権大会が、8月5日に埼玉県さいたま市の大宮武道館で行われ、パワフル全開の大活躍をみせた。女子52kg級では矢倉翠、女子63kg級では戸映美がそれぞれ優勝、3年生コンビが全国一の栄光を勝ち取った。2人を指導してきた顧問の齋藤誠一郎教諭は、「決して妥協す

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

を果たし、「作新」の名を全国に轟かせた硬式野球部。「最後まで諦めない」「全員野球での勝利」を合言葉に選手たちは見事に期待にこたえてくれた。

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

第84回選抜甲子園大会に8年ぶり9回目の出場を果たし、ベスト16の成績を収めた。また、夏の第94回選手権大会にも、2年連続8回目の出場を果たした。結果は、昨年のベスト4には届かなかったが見事にベスト8という輝かしい成果を収め、再び県民の皆様に感動を与えることができた。

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

第84回選抜甲子園大会に8年ぶり9回目の出場を果たし、ベスト16の成績を収めた。また、夏の第94回選手権大会にも、2年連続8回目の出場を果たした。結果は、昨年のベスト4には届かなかったが見事にベスト8という輝かしい成果を収め、再び県民の皆様に感動を与えることができた。

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

第84回選抜甲子園大会に8年ぶり9回目の出場を果たし、ベスト16の成績を収めた。また、夏の第94回選手権大会にも、2年連続8回目の出場を果たした。結果は、昨年のベスト4には届かなかったが見事にベスト8という輝かしい成果を収め、再び県民の皆様に感動を与えることができた。

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）

また、今年見事に大輪を咲かせたのは総合進学部3年の南野英文。第23回全国高等学校選抜大会でウェルター級優勝と技能賞受賞。「2012北信越かがやき総体」準優勝。そして、「ぎふ清流国体」で第3位。これらの成果が認められ、12月、アルメニア共和国で開催された「世界ユース選手権」の日本代表に選出された。南野の今後の活躍から目が離せない。（写真左端が南野）